

黒埼町に劇団が旗揚げ

寺地団地・夢のスズノリ一座 座長 鈴木ノリコさん

すでにご存知の方もいるかもしれませんが、この冬、芝居好きのあなたに朗報なのが、寺地に劇団が旗揚げしたこと。その名も夢のスズノリ一座と銘打ち寺地団地に工房（劇場兼稽古場）を構えた。寺地と言えばこのコーナーで以前に紹介した小林へろさんを思い出し、何か関係があるのでは、と思いつつおじやました。

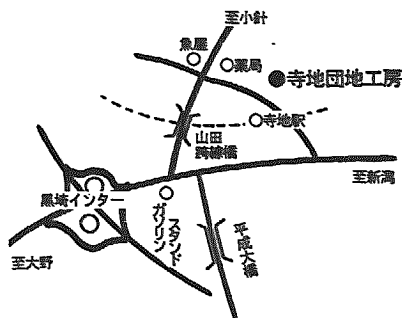
一座の座長は鈴木ノリコさん。新潟で活躍する女優として、広く支持されている。鈴木さんは、この場所に工房を構えた経緯を「支配人（小林へろさん）が、いきつけの理容院で『適当な芝居小屋をさがしているんだけど...』と相談したら、マスターがこの大家さんだったんです」。鈴木さんと小林さんは、新大の演劇研究会時代か

らの知り合いで、小林さんの呼びかけでメンバーが集まり、一座が結成された。現在、団員は十八名で、大所帯だ。一座の名前も鈴木さんがメンバーに相談したところ「愛と夢の鈴木ノリコ劇場にしろ、と言われたんですが、それはちょっと（笑）な

やっつけていきたいですね」と言う。旗揚げ公演は、芝居が二本と歌あり踊りありのレビューショー、それに鈴木さんの言葉を借りれば「ちょっと痛い」ような過激なパフォーマンスもあるそう。まさに盛りだくさんの内容の旗揚げ公演となる。期



写真/上 夢のスズノリ一座の華麗なる女性メンバー。後列のまん中が座長の鈴木ノリコさん 下 旗揚げ公演のコントの中の踊りをけい古しているところ。当日は夜遅くまで練習を重ねていた。



ので誰でもが親しめる名前ということ、有名なすずなり座にひっかけたこの名前にしました。地域の人に愛され、親しまれる劇場にすることが契約の時の大家さんの条件だったそう。今は平成七年十二月十六、十七、二十三日に行われる旗揚げ公演に向けて稽古の日々を送っている。「今までの新潟の劇団とは違った方向で攻めていこうと思っているんです。芝居の中にお笑いの要素を取り入れたら、コントなども多く

待がもたれるところだ。

今後の公演予定は、一月十三、十四日に小林へろさんの一人芝居、二月十七、十八、二十四、二十五日に鈴木ノリコさんの一人芝居が行われる。その後は「アナウンサーの峰剛さんの朗読会、仙台、東京で活躍している亀ヶ森さんの芝居をやる予定です。また、五月あたりにスズノリ一座の第二段をやりたいですね」と言う。黒埼では定評のある小林へろさんの一人芝居や面白いお芝居がここでは定期的に見られることになりそう。団員の得意分野を伸ばして、地域のお客さんが楽しめる、大衆演劇の「ノリ」を持った芝居をしていきたいんです」と一座の方向性を語る。黒埼に誕生し、地域に愛される劇団としてずっと続くことを期待したいと思った。※なお、チケットなどのお問い合わせは点心舞台 ☎二六七一九一六八まで

〈人の動き〉			
	前月比	前年同日比	
11月末日現在	24,149 (+44)	[+102]	
人口			
男	11,849 (+21)	[+51]	
女	12,300 (+23)	[+51]	
世帯	6,942 (+29)	[+197]	
11月1日~末日			
出生	14	99	
転入	37	58	
転出			
死亡	12		



新年あけましておめでとうございます。皆さんは、平成八年の新春をいかがお過ごしでしょうか。広報を担当していると、締め切りを追われてあっという間に月日がたつように感じてしまいますが、『元旦マラソンだ、まったりだ、入学式だ、季節（？）を感じる』ことができ、あわただしい中にも良きがあるのだと、最近感じている編集子でした。▼今月号では、第一回町民海外研修についてお知らせしましたが、いかがだったでしょうか。報告会では、参加者の皆さん一人一人が目を輝かせながらドイツ・フランスで研修してきた事を報告していました。きっと町づくりのため一役担ってくれる人になるのだと思えました。町民海外研修は今後も継続していく予定です。▼さて、昨年は天災や事件などの多い暗い年でしたが、今年は十二支のトップを飾る千代（ねどし）です。どうかよい年でありませうに願いたいものです。今年も広報くろさきをよろしくお願いたします。



◎来月号では、議会十二月定例会の様相などを伝えたいと思います。